



先見性に富む柔軟な発想で
理想の医療・福祉を追求します

くじらグループ広報誌
KUJIRA JOURNAL

vol.
53

April 2016

4月号

くじら

ジャーナル



巻頭
特集

平成28年度 くじらグループ新入職員18名

誓いの言葉

近年、高齢化の加速や経済基調の変化、医療技術の進歩など、医療を取り巻く環境は目まぐるしく変化しております。現在では、患者様・利用者様の視点に立った効率的かつ安心できる質の高い医療の提供、健康寿命を延ばし生活の質を高める保健医療サービスの提供、国民に信頼される安定的な医療保険制度の構築が求められています。この刻々と移行行く医療情勢に対して、「先見性に富む柔軟な発想で理想の医療・福祉を追求します」というくじらグループの理念のもと、時代の需要に見合った質の高い医療を提供していく所存です。そのために、私たちは医療人としての自覚を持ち、互いに和衷共同して勉学に励むとともに、諸先輩方に教わりながら日々精進してまいります。晴れてこのくじらグループの一員となり、社会人としての第一歩を踏み出し、新しい門出を迎えました。未熟で未完成的な私たちゆえ、先輩の皆様方にはご迷惑をおかけすることもあるかと思ひます。早く一人前の職員となり、地域社会に貢献できるよう、最大限の努力をしていくことをここに誓います。

新入職員代表 山本 将





永年勤続 表彰者

10年

青木大介	岩谷由子
上野一政	上脇千枝
宇都宮きさ子	大野和美
菊池友香	菊地友希
楢本大貴	河野裕樹
西園寺章代	佐々木恵美
佐々木夕希子	鳥津あつ子
上甲萌	橋波春香
谷本千明	都築夕子
成實桂祐子	林純子
原谷愛	古川美紀
堀江順一	山中まり

20年

網谷洋子	植田喜教
宇都宮理恵	幸田恵
竹田いづみ	福田愛子
福本幸代	山川芳秀

お知らせ



第18回

こころのふれあい フェスティバル2016.

開催日：2016年5月28日(土)
場 所：北浜公園
時 間：10:00～15:00
主 催／くじらグループ

くじらグループ広報誌



第11回八幡浜駅伝カーニバルに参加しました



「駅伝とマラソンと私」

真網代くじらリハビリテーション病院 医療情報課 精神保健福祉士 河野 裕樹

午前9時。スタート直前のスポセンは選手625名と、集まった家族や市民の熱気に包まれていました。市民スポーツセンターから保内を周回する12.4kmを5区に分けたコースを、沿道からの応援をガソリンに、選手は死力を尽くして疾走します。今年くじらグループからは2チーム10名が参加し、真網代くじらリハビリテーション病院チームが47チーム中8位と粘りをみせました。マラソンはよく人生に例えられ、シドニーオリンピック金メダリストの高橋尚子さんはこう語っています。「痛い目にあっただとしても、失敗すらできない人生よりずっと楽しい。」失敗できないという事は、チャレンジできないという事。たとえ痛みを伴ったとしても感動のある人生が素晴らしいのだと、私は解釈しています。これからもチャレンジし続ける人生を!



400床以上の大規模病院で7割を超える普及率の電子カルテですが、中小規模の病院では依然4割に満たない状況です。理由は高額な導入コストとスタッフ教育でしょうか。ですが医療連携の進む今、そこからもたらされる利便性を考えると、導入せずに終えることは難しいように思われます。くじら病院では現在、導入に向け



こんにちは!

アクティブライフ千代田です。

4月1日、アクティブライフ千代田が開設しました。2ユニットのグループホームです。協力医療機関であるチヨダクリニックと隣接しており、心強く感じています。隅々までびかびかのホームは気持ちが良い、「新品のお鍋やフライパンでこれからどんなお料理を作ろう」「天気の良い日はウッドデッキで日向ぼっこしよう」など、あれこれ考え楽しみでいっぱいです。

グループホームではそれぞれの入居者様に役割があります。できること・得意なことを日々の暮らしの中に活かして頂くためです。そうして皆様と日々を重ねるうちに、この真新しいホームに住み慣れた我が家へと変わってゆくのでしょうか。認知症になってもその方らしく、今この瞬間を笑顔で過ごせるように精一杯サポートして参ります。いつでもお気軽にお立ち寄り下さい。見学をお待ちしております。

vol.53 <http://www.kujira.biz>

発行／くじらグループ 編集／統括管理部
〒796-8010 愛媛県八幡浜市五反田1番耕地106番地
Tel.0894(22)5750(代) Fax.0894(22)5710 E-mail g-honbu@kujira.biz

